

院長ごあいさつ

令和2年6月1日で開院5年を迎えました。

くしくも本院が開院した平成27年6月1日も月曜日でした。当日は朝早くクリニックに来て落ち着かない様子で9時の開院時間までソワソワしていたことを今でも思い出します。そして最初の患者さんが受け付けられたのを確認して皆に悟られぬようほっとしました。おかげさまでそのころに比べ最近を受診していただく患者数が増えています。その分当初のゆったりと一人一人に十分時間をかけた診療がここ最近はできていないのも事実です。

本院は当初から予約制ではないので、長時間診察までお待たせしてしまっています。それでも開院当初の姿勢は忘れることなく短い診察時間でも患者さんの満足が得られるよう努力しているつもりです。確かに予約制にすればあまり待つことなく診療ができるのかもしれませんが、大学病院時代がそうであったように、その体制では予約をしていない新患への対応が極めて困難になります。一般的に新患の診療にはかなりの時間を費やすことになります。そのため大学病院では外来担当医が新患（初診）担当と再診担当に分かれて診療をしていました。脳神経外科の扱う疾患の性質上突発的に発症することが多く、調子が悪くてようやく受診したら脳卒中だったということも稀ではありません。たとえ再診の患者さんでも、頭痛がひどくなっているにもかかわらず予約をしていないから診れないということは私にはできません。自分が脳疾患ではないかと不安で受診した患者さんが、その日のうちにその不安が解消されないというのなら、大学病院時代の診療とあまり変わりません。そのために本院にはMRIを設置しており、当日予約なしに必要な方は検査しています。

本院の診療理念は「患者さんがいだけ病気の不安を笑顔にかえる」ということです。この理念は5年たっても変わりません。言い訳に聞こえるかもしれませんが、初診・再診に関わらずすべての患者さんが多少お待ちいただくかもしれませんが、本院を受診してよかったという満足感を感じていただけるようこれからも努力し続けます。この理念は本院スタッフ全員も共有しており、受付カウンター越しに患者さんの表情を伺いながら時にはカウンターを出て声をかけたり、MRI検査というとかく特殊な検査を緊張させぬよう適宜声掛けする姿勢にも表れています。

これからも初心を忘れず笑顔で対応してまいりますのでどうかよろしくお願いいたします。

令和2年6月1日

つぐ脳神経外科・頭痛クリニック
院長 継 淳